

# 令和 7年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 会計課  
 担当名: 予算係  
 内線: 2236

(単位: 千円)

番号	事業名	会計	款	項	目	説明事業	
P27	情報技術 (IT) 活用総合対策経費	一般会計	警察費	警察管理費	警察本部費	一般行政費	
事業期間	平成 8年度～	根拠法令	警察法	針路	08	支え合い魅力あふれる地域社会の構築	SDGsゴール 16
				分野施策	0805	デジタル技術を活用した県民の利便性の向上	SDGsターゲット 16-6
1 事業概要	<p>警察情報の発信のために不可欠な機器の整備及び警察活動の効率化に資するシステム構築を実施する。</p> <p>イ 働き方の新しいスタイルに対応した警察基盤の構築経費 △12千円</p> <p>ウ 情報システム構築に係るコンサルティング経費 △1,298千円</p> <p>エ 先端技術の活用による警察活動の質的向上 △154千円</p>						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)	<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア インターネットパソコン更新経費 インターネットパソコン借上料</p> <p>イ 働き方の新しいスタイルに対応した警察基盤の構築経費 Web会議システム、セキュアモバイルシステムの運用</p> <p>ウ 情報システム構築に係るコンサルティング経費 情報システム構築支援業務委託</p> <p>エ 先端技術の活用における警察活動の質的向上 ソフトウェア運用支援委託、サーバ借上料等</p> <p>オ 部外 (事業者) とのリモート会議環境の整備 パソコン借上料及び回線使用料</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア インターネットパソコンの計画的な更新</p> <p>イ Web会議システムやセキュアモバイルシステム、RPA等各種システム・技術を活用した効率的な業務の推進</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>警察情報の発信のために不可欠な機器の整備及び警察活動の効率化に資するシステムの運用を図ることにより、県民サービスの向上、第一線の捜査活動の強化を図り、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進することができる。</p> <p>【活動指標(アウトプット)】 Web会議の実施、セキュアモバイルシステムによる効率的な情報共有、RPA・AI-OCRによる業務支援</p> <p>【成果指標(アウトカム)】 会議に係る移動時間の短縮や効率的な情報共有による警察力の現場シフト、定型業務の自動化・省略化</p>						
3 地方財政措置の状況	なし						
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×0.7人=6,650千円						
予算額		財 源 内 訳				一般財源	補正後の 予算額
決定額	△1,464					△1,464	168,251
現計額	169,715					169,715	

## 事業内訳書

事業名	情報技術（IT）活用総合対策経費		
単位事業名	働き方の新しいスタイルに対応した警察基盤の構築経費	予算額	△ 12千円

○歳入 （単位：千円）

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△12	—	
合計	△12	—	

○歳出 （単位：千円）

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	△12	—	執行節減による消耗品の減
合計	△12	—	

単位事業名	情報システム構築に係るコンサルティング経費	予算額	△ 1,298千円
-------	-----------------------	-----	-----------

○歳入 （単位：千円）

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△1,298	—	
合計	△1,298	—	

単位事業名	情報システム構築に係るコンサルティング経費	予算額	△ 1,298千円
-------	-----------------------	-----	-----------

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	△1,298	—	契約差金が生じたことによる委託料の減
合計	△1,298	—	

単位事業名	先端技術の活用による警察活動の質的向上	予算額	△ 154千円
-------	---------------------	-----	---------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△154	—	
合計	△154	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	△154	—	契約差金が生じたことによる委託料の減
合計	△154	—	